和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第７号

２０１８年１０月３１日

SGH校外研修・関西学院大学

言語や文化の違いがコミュニケーションをとりづらくしているということを学んだ。外国へ行って現地の人とよりよい関係を築くためには、文化や歴史をあらかじめ調べておくのが良いということを学んだ。

大学生への質問では、実際に外国へ何ヶ月も学びに行ったことのある人の考えを聞くことができてよかった。ある人は、その国へ行って帰ってきてから新たに目標を立てたということを語ってくれた。見習いたいと思うことが多くあった時間だった。　（１年５組　生徒感想）

1学年
SG課題研究Ⅰ
(総合的な学習の時間)
校外研修

10月2日(火)、普通科１年生はJICA関西と関西学院大学においてSGH特別講義を受講しました。JICA関西では協力隊員の方々よりベトナムとインドネシアへの派遣体験をそれぞれ伺い、各国の状況と日本が果たす役割について理解を深めました。関西学院大学では「グローバル人材に必要な資質」について山田好一教授に講義していただきました。また、実際に渡航し研鑽を積んできた大学生から体験談を聞くトークセッションコーナーもあり、より身近に世界に目を向けると同時に、自らの進路や学習態度を見つめ直すよい機会となりました。

SGH校外研修・JICA関西

国際協力とは一方的に支援することではなく、互いが協力し合っていくものだということを学んだ。また、自分が20%しかいない、先進国に生まれた恵まれた人間であるということを学んだ。

JICAに行ったことで、今まであまり身近に感じていなかった途上国のことがより身近に感じられた。自分の生活がそういう多くの国々により支えられているのだとわかり、とても勉強になった。
（1年２組　生徒感想）

JICAを訪問し、青年海外協力隊について詳しく知ることができました。ベトナムの暮らし、発展途上国の良い点、悪い点もとらえ直すことができました。また、JICAはODAを行う実施機関で、国際協力を行っているということを学びました。

JICAで吉田先生の話を聞き、私たちは知らないうちに途上国とたくさん関わっていることが分かりました。また日本は途上国に依存していることも知り、途上国に対する考え方、印象が大きく変わった一日でした。
（１年３組　生徒感想）